



今週の「人プロ」 第16回

不 必 要 な 身 体 接 触 を し な い

～「境界線」の視点から～

人プロ 134ページ

令和6年10月18日（金）

人プロ 134ページ

教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律

「教職員等による児童生徒性暴力等が児童生徒の権利を著しく侵害し、児童生徒等に対し生涯にわたって回復し難い心理的外傷その他の心身に対する重大な影響を与えるものであることに鑑み、児童生徒等の尊厳を保持するため、児童生徒性暴力の禁止について定める」

→ 不必要な身体接触をしない

「境界線」 ～性加害・性被害をふせぐために～

○ 自分の「境界線」は自分で決めることができる

- ・ すぐ近くに知らない人の顔があるのは「いや」
- ・ 親と手をつなぐのは「OK」
- ・ 友達と肩を組むのは「OK」だけど、頭を触られるのは「いや」

○ 境界線をこえるときは同意をとる

- ・ 友達に「手をつないでいい？」ときく ・ 親が子どもに「ハグしていい？」ときく

○ いやなときは「いや」と伝えてよい

- ・ 相手の存在がいやなのではなく、そのさわり方はいや
- ・ いやな時に「いや」と言えない＝対等でない関係
 - 性暴力が起きやすい

大人と子供、教師と児童生徒、上司と部下、コーチと選手、、、